19 陳情第 1 号

19 陳情 第 1 号	新宿区空き缶等の散乱及び路上喫煙による被害の防止に関する条例の第 8 条は民主主義に反する よって条文を変更せよという陳情
付託委員会	環境建設委員会
受理及び付託 年 月 日	平成 19 年 1 月 30 日受理、平成 19 年 2 月 23 日付託
陳情者	東京都新宿区住吉町 _____ _____

(要 旨)

第 8 条「区民等は、路上喫煙を行ってはならない。ただし、区長の指定する場所においては、この限りでない」という表現は、新宿区は中山区長の独裁区であることの証拠である。よって、以下のように変更してもらいたい。

「区民等は、路上喫煙を行ってはならない。ただし、区議の提案により区議会で承認を得た場所を喫煙場所とする」

(理 由)

新宿区内の商店街にはタバコを販売している商店が存在するが多い。そして、タバコは店頭販売していないがタバコの自動販売機を置いている商店は必ずある。そういう店頭ないし自動販売機のそばには灰皿が置いてある。そこが現在では実質的な喫煙場所になっている。そのような現状を区長、区職員は知っているのか疑問である。第 8 条は空文化しているのは明らかである。区民の代表である区議会議員に地元を調査してもらい、喫煙場所を決めるのが民主主義である。